

COPD対策事業の運営について(中間報告)

COPD(慢性閉塞性肺疾患)が原因で死亡する人は今後増加すると指摘されている。しかし、県民の疾患の認知度は12.2%(H28なら健康長寿基礎調査)と低く、認知度の向上と適切な医療機関への受診勧奨をし、早期発見・早期治療を行うことを目的に平成26年度より実施している。

市町村

- 既存事業(特定健診やがん検診等)において、スパイロシフトによる肺年齢測定
実施:生駒市、上牧町
- ハイリスク者の医療機関への受診勧奨(禁煙外来、呼吸器内科)

健康づくり推進課

- スパイロシフトの貸出
- 市町村及び保健所の事業でのスパイロシフト計測結果、分析

保健所

市町村への技術支援
事業実施補助

- COPD予防講演会の開催
大淀町(11/6・吉野HC)
平群町(12/1・郡山HC)
大和高田市(H30.2/4中和HC)
【内容】講演会、肺年齢測定会
- 事業実績報告会
保健所は、市町村と集計分析した結果等の実績を用い報告会を開催。
- 連絡会の開催
医療が必要になった場合、どのように専門の医療機関へつなげていくのか等を検討する。